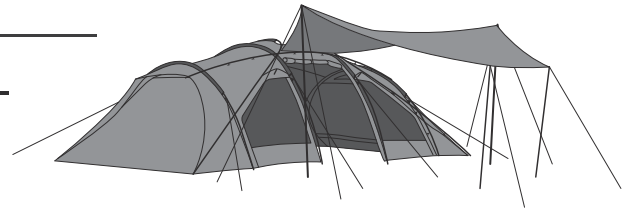


取扱説明書

RWS0335 - ムシエル - MUSCHEL



この度はラーテルワークス製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全にご使用いただくために、下記説明をよく読んでからご使用ください。また、読み終わったあとも大切に保管してください。ご不明な点や製品に不具合が確認された場合は直ちに使用を中止し、弊社までお問い合わせください。

セット品 ※はじめに、必ず不足がないかご確認ください。

アーチポール（紫）×2	収納袋	フライシート	グランドシート	インナーテント	TPU パネル	ルーフプロテクタ	タープ
アーチポール（灰）×2							
リッジポール（黒）×2							
スタビリティポール（赤）×2							
	ポール収納袋	コンプレッションベルト ×2	ツールバッグ	ハンマー	ガイロープ×8 （オリジナル自在金具付き）	鍛造ペグ 25cm×20	デジチェーン

注意事項 ※ご使用前によく読み、予測される事故を回避して安全にご使用ください。

警告 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

- **ご使用前に必ず取扱説明書を読み、一度組み立ててください。**
キャンプにでかける前に、取扱説明書通り付属品に不足がないか確認し、必ず一度組み立ててください。
まれに縫製上の不備や付属品の不足により、テントが建てられない場合があります。テントを収納する時は、付属品の数量を確認してください。
- **テントの近くや内部では火気を絶対に使用しないでください。**
テントの防水加工生地は、熱に弱く、燃えやすくなっています。火気を使用した場合、テントが燃えたり、ヤケドなどの原因となります。
テント内部の照明はバッテリー式ランタンや懐中電灯を使用してください。
- **テントを使用する際は、定期的に換気をしてください。**
通気性が悪くなり、最悪の場合は酸欠により死に至る可能性があります。
また、外気温との差が10℃前後になると結露が発生する可能性があります。定期的な換気を行うことで結露の低減につながります。
- **小さなお子様のご使用になる場合、保護者の方はお子様から目を離さないでください。**
小さいお子様にポールを組み立てやペグ打ちの作業はさせないでください。
日中テントの中は高温になる場合があります。熱中症になる可能性があるため大変危険です。

警告 怪我や本体破損、物品破損として拡大被害の原因となる行為を示します。

- **テントは必ず2人以上で組み立ててください。**
1人で組み立てると、フライシートやポールに無理な力がかかりやすく、テントが破損する場合があります。
- **設営撤収作業には十分注意し、必ず手袋を着用してください。**
設営・収納作業時には、テントポールのストッパー部分やペグ固定時にハンマーなどで手や指を挟んだりする可能性がありますので、作業中は、必ず軍手等を着用し、怪我や事故のないように十分注意しながら作業を行ってください。
- **設営場所は、石や小枝などをあらかじめ取り除いて整地してから設営してください。**
テントが破損する恐れがあります。
- **フライシートに鳥の糞や樹液がたれそうな場所での設営は避けてください。**
鳥の糞によりフライシートに穴が空いてしまう可能性がございます。また、樹液が付着してしまうときれいに落とすことはできません。
- **ポールを扱う時は、周囲に十分気を配りながら、事故やケガなどないよう設営してください。**
ポールは細く長いため、周囲にいる人（特に子供）の目に刺さったり、車などをキズつける可能性があります。
また、ポールが折れた際応急処置として、速やかに添え木をあて、ビニールテープなどで固定をするか、撤収してください。
- **ペグやガイロープでしっかりと地面に固定してご使用ください。**
風でテントが飛ばされたり、天井に雨水が溜まってテントがつぶれる危険があります。テントが吹き飛ばされた場合、人や車、他のテントなどに当たって大きな損害になる可能性があります。ペグは全数きちんと打ってください。また、補強用ガイロープは全数きちんと張ってください。撤収時には、必ずペグを全数抜き取り、数量をチェックしてください。テントは、ペグで固定する前、またはペグを抜いた時、急な突風で飛ばされることがあります。テントが飛ばされないよう、手を放さないでください。ペグを打つ前に、補強用のガイロープをあらかじめ仮止めておく方法もあります。また、撤収時は、最後に補強用ガイロープを抜けば飛ばされません。

本製品に関するご留意事項

- <対応シーズンについて>
本製品はオールシーズンご使用いただけますが、氷点下の環境ではジッパーが凍結する恐れがあるため、ご使用はお控えください。
- <折りジワについて>
本製品のテント、シェルター、タープに使用している化学繊維には、折りジワが発生する場合があります。これは製品の性能に影響を与えませんので、あらかじめご了承ください。
- <撥水性能について>
生地表面には撥水加工を施しておりますが、使用の頻度や条件により、撥水性能が徐々に低下し、雨が染み込む場合がございます。
なお、裏面の防水性能には影響がありませんので、引き続きご使用いただけます。撥水性能の長期維持はできません。ご了承ください。
- <シームテープの変色について>
シームテープは使用とともに変色することがございますが、製品性能に影響はありませんので、安心してご使用ください。

メンテナンス / 保管方法

- 使用後は、必ず完全に乾燥させてから保管してください。湿気が残ったまま長期間保管すると、生地裏面のポリウレタン加工が水分により分解・剥離するおそれがあります。
また、特にシームテープ部分には水気が溜まりやすいため、タオル等でしっかり拭き取ってから保管ください。シームテープの剥がれや防水性の低下、カビの発生、悪臭、色移り、生地の劣化を招く原因となります。
- 生地の乾燥は生地同士が触れ合わないようにして、通気性の良い場所で行ってください。
- フライシートの汚れを落とす場合は、水で洗い流すか、乾燥した状態でブラシなどで払い落としてください。汚れのひどい場合には中性洗剤を水で薄め、汚れた部分をスポンジなどで軽くこすった後、水で洗い流してください。ただし、強い液性の洗剤を使用したり、強くこすったりすると、生地外側の撥水加工（テフロン加工を含む）が極端に低下しますので、ご注意ください。
- 生地の表面を洗う時には、裏面の防水コーティング面を傷つけないように注意してください。洗濯機で洗濯したり地面にこすりつけたりすると、ポリウレタンコーティング面に傷がつくことがあります。
また、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。コーティング剤が溶ける恐れがあります。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備がございましたら弊社までご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理を行わせていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は保証・修理できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

1. 取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
2. 素材の経年劣化による製品の寿命。
3. 改造及び粗雑な扱いによる故障。
4. 不測の事故による製品の故障。
5. その他製品上の欠陥以外による製品の故障。
6. ゴミやサビによる故障。
7. 分解したことによる不具合の発生・破損。
8. 落下やその他の衝撃による変形・破損による不具合。
9. 消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。

修理について

1. 修理依頼は、破損時のご状況、修理箇所の詳細（破れサイズ等）がわかる写真と、お問合せフォームのチェックシートに修理箇所がはっきりと解るように、印をつけて添付の上、「info@ratelworks.jp」までメールでお問い合わせください。
2. 弊社にて修理内容を確認し、お見積もりいたします。お客様のご了承をいただいた後、修理を開始致します。
3. 修理品を郵送する場合は汚れを綺麗に落とし、必ず十分に乾燥させてください。
4. 修理が必要な製品のみ発送してください。
5. 修理品の運賃並びに修理費については下記の規定とさせていただきます。

- ※保証対象の場合：往復の運賃・修理費は弊社が負担いたします。
- ※保証対象以外の場合：往復運賃・修理費はお客様の負担とさせていただきます。
- ※製品修理を行う場合、新品に戻るわけではないため、縫製や修正箇所が目立つ場合がございます。予めご了承ください。
- ※修理に要する時間は、破損状況、修理難易度、混雑具合によって前後いたします。予めご了承ください。

設営方法

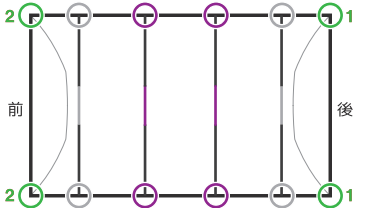


◀◀◀ 設営を行う前に左の QR コードから、ラテルワークス公式チャンネルの設営動画を取扱説明書と合わせてご覧ください。

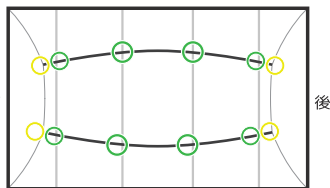
設営手順

1 フライシートを広げ、アーチポール(灰)・アーチポール(紫)のセッティング

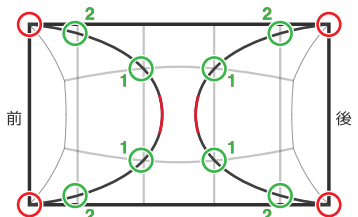
※テントは前後左右対象です



2 リッジポール(黒)のセッティング



3 スタビリティポール(赤)のセッティング



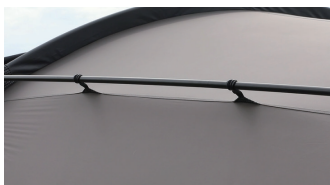
1 フライシートを広げ、アーチポール(灰・紫)のセッティング

- フライシートすべてのジッパーが必ず閉まっていることを確認し、平らな場所を選んで、整地を行ってからフライシートを広げてください。
- 灰色のスリーブにアーチポール(灰)を、紫色のスリーブにアーチポール(紫)をそれぞれ通します。
- 灰○・紫○位置にあるアジャスター付きグロメットに対応するそれぞれのアーチポール(灰・紫)の先端を挿し込みます。
※アジャスターを緩めておくとし差し込みやすくなります。
差し込み後は、アジャスターを最後までしっかり引き絞ります。
- 後方のアーチポール(灰)を立ち上げ、緑○1の位置にあるループをペグダウンします。
- 前方のアーチポール(灰・紫)を立ち上げ、テント本体を伸ばしていきます。テントを自立させるため、緑○2位置にあるループをペグダウンします。
※この後の設営手順でリッジポールがループに通しやすくなります。
- フライシートに付いているポールフックをアーチポール(灰・紫)に全て嵌め込みます。



2 リッジポール(黒)のセッティング

- 緑○位置にあるループにリッジポール(黒)を通し、黄○位置にあるアジャスター付きグロメットにリッジポール(黒)を挿し込みます。その後、アジャスターを最後まで引き絞ります。
※サイドパネルを開けておくとし、作業がしやすくなります。
- フライシートに付いているポールフックをリッジポール(黒)に全て嵌め込みます。



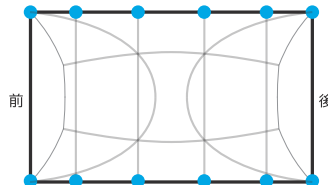
3 スタビリティポール(赤)のセッティング

- 赤色のスリーブにスタビリティポール(赤)をそれぞれ通していきます。
※スタビリティポールは、リッジポールの上側を通してください。
- スタビリティポール(赤)の両端を赤○位置にあるアジャスター付きグロメットに差し込みます。
- フライシートに付いているポールフックをスタビリティポール(赤)に全て嵌め込みます。
- 赤色のスリーブ端にあるフックを緑○1位置にある O リングに引っ掛けます。
- スタビリティポール(赤)とリッジポール(黒)の交点である緑○1位置とスタビリティポール(赤)とアーチポール(灰)の交点である緑○2位置を巻留めテープで固定します。



4 テントの固定

- テントの向き、位置を確定したら、フライシートの青●位置にあるループをペグダウンします。
※フライシートの張り具合を確認しながら行ってください。

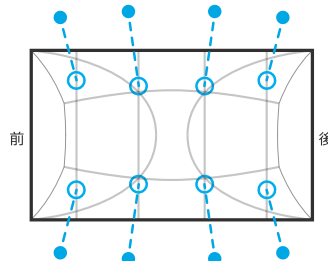


5 耐風ループと巻留めリングのペグダウン

- 各ポイント青○位置(耐風ループとポール交差点の巻留めテープ金属リング)にガイロープを結び、青●位置にペグダウンしてください。
※風の強弱にかかわらず、フライシートへの負荷を低減するため、必ずペグダウンしてください。

ペグダウン位置平面図

- ペグダウン位置
- ガイロープ
- 耐風ループ位置



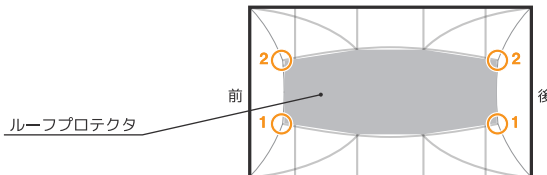
6 インナーテントの取り付け

- 地面にグランドシートを敷き、その上にインナーテントを広げます。
- インナーテント中央頂点のフックをフライシート頂点のリングにひっかけ、中央から順にフックを掛けます。
- インナーテント下部 6 カ所のバックルをフライシートに嵌め込みます。



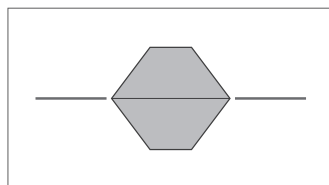
7 ルーフプロテクタの取り付け

- 橙○1位置にあるリッジポール(黒)の先端に、ルーフプロテクタ先端のアジャスター付きグロメットを嵌め込みます。その後、アジャスターを引き絞ります。
- ルーフプロテクタをフライシートに被せていきます。
- 橙○2位置にあるリッジポール(黒)の先端に、ルーフプロテクタ先端のアジャスター付きグロメットを嵌め込みます。その後、アジャスターを最後まで引き絞ります。
- ルーフプロテクタに付いているポールフックをリッジポール(黒)に全て嵌め込みます。



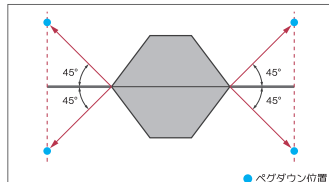
8 タープのメインポールの設置

- 設営する場所は平坦な地面を選んでください。また、地面に鋭利な物や石などが無いことをよく確認してから設営を開始してください。
- タープ本体を地面に広げます。
- メインポール2本をそれぞれセンターラインの延長線上に置きます。
- メインポールの先端に、ますタープ金具の穴を掛け、その上からガイロープを掛けます。
※タープ用のメインポール・ガイロープ・ベグは別途購入が必要です。



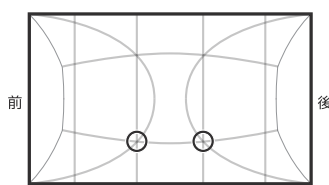
9 タープのメインポールの立ち上げ

- ポールを立ち上げるためにガイロープの自在金具を最大まで緩めます。
- ガイロープをメインポールに対して約45度に配置して、メインポールの長さとおよそ同じ位置にペグダウンします。
※ベグはガイロープに対して垂直の角度でペグダウンすると抜けにくくなります。
- メインポールを立ち上げます。
※立ち上げにくい場合は片側ずつ立ち上げてください。
- 自在金具を調整してタープのセンターラインとメインポールをまっすぐにします。



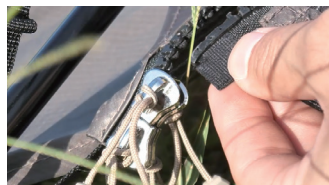
10 タープに張りを出す

- ガイロープをタープ端のループに結びます。
- タープの張り具合を確認しながらガイロープを引っ張りペグダウンします。張り感が足りない場合はガイロープの自在金具を調整してテンションを掛けます。
- タープをテントに連結する場合は、黒○位置にある O リングにタープ付属のカラビナを連結させてください。



11 TPU・メッシュフライパネル(前後)の脱着方法

- ジッパーを右側から左側へスライドさせると、パネルを取り外せます。
- 正面左下のジッパースライダーにエレメントを差し込み、左側から右側へスライドさせると、パネルを取り付けられます。



12 メッシュフライパネル(前後)のメッシュを巻き上げて跳ね上げる場合

- 両サイドのジッパーを、黒○位置まで開きます。
- 黒○位置のストッパーにスライダーの紐を掛け、パネルを固定します



13 パネルアレンジ例

ファスナーに防水性能はございません。雨天時や結露が多い場合、ファスナーから水が滴る可能性がありますので十分にご注意ください。

